

この春の卒業生(34期生)があいさつに来てくれました

彼は中学校にはほとんど行かれませんでした。高校ですべてをやり直したいと考えて釜利谷高校に入学しましたが、少しまじめすぎるところがあり、頑固でもあったため、1年次の担任の先生は「うまくクラスに馴染めるのかな」ととても心配だったそうです。

授業は誰よりもまじめに取り組み、ほぼ皆勤で登校し続けました。自分を変えるために、1年生のときは演劇部に入部して公演活動をしたり、2年次、3年次の文化祭では和服姿で落語を演じたりして、人前でも自己表現できるように自己研鑽に励んでいました。



○昨年の文化祭で落語を披露しました



○釜利谷の制服から自衛官の制服に衣替え

東日本大震災で救助や復旧作業に奔走する自衛官の姿を見て、「自分も人の役に立てる人間になる」と決め、早くから進路は「自衛官」と答えていました。無事試験にもパスして陸上自衛隊への入隊を果たし、つい最近まで訓練が続いていたそうです。先日、配属先が決まって横浜を離れることになり、制服姿で報告を兼ねてあいさつに来てくれました。

立派になった卒業生の姿に、彼の3年間を知っている教員は目を細めていました。